



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	日本通運大井川物流センター	BEE	0.9	BEEランク	B-
------	---------------	-----	-----	--------	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 / 満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5 / 5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 / 5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 / 5		ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2 / 5		がんばろう

対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(-)を示し記述してください。		内訳対応項目		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.5	
<p>室内環境対策 (室温制御/ 昼光対策/ グレア対策/ 部品・部材の耐用年数) ダブル折半採用による室温対策</p> <p>室外環境(敷地内)対策 (生物環境の保全と創出/ 敷地内温熱環境の向上) 緑地を残し環境の保全に努める。 敷地周囲を緑地化し環境の工場に配慮した。</p> <p>エネルギー対策 (建物外皮の熱負荷抑制/ 自然エネルギー利用/ 設備システムの高効率化/ 効率的運用) ダブル折半による断熱化。 LED照明の採用。</p> <p>資源・マテリアル対策 (水資源保護/ 非再生性資源の使用量削減/ 汚染物質含有材料の使用回避) R410A冷媒採用によるODPOの採用。</p> <p>敷地外環境対策 (地球温暖化への配慮/ 温熱環境悪化の改善) 建築設備の省エネに配慮した。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1 Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6 Q-3 1 3 3.2 LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3 LR-3 1 2 2.2	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔 生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 モニタリング 運用管理体制 節水 雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒 地球温暖化への配慮 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	2.8
	<p>サービス性能対策 (耐震・免震/ 信頼性) 地域係数1.2による耐震性の向上。 節水タイマーの便器及び自動水栓を採用。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備	
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点
	<p>サービス性能対策 (機能性・使いやすさ/ 心理性・快適性/ 空間のゆとり) 工場部分は高い天井による大空間の確保。</p> <p>室外環境(敷地内)対策 (①地域性・アメニティへの配慮) ②工場用途に付、周囲に緑地を配し内部空間と外部からの景観に配慮。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2 Q-3 3 3.1 ①	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.2	
<p>室外環境(敷地内)対策 (生物環境の保全と創出/ ①まちなみ・景観への配慮/ 敷地内温熱環境の向上) ②工場部分が外部からの視界に入らないよう景観に配慮した。 敷地周囲は法面緑地を残し配慮した。</p> <p>敷地外環境対策 (持続可能な森林から産出された木材/ 温熱環境悪化の改善) 緑地への給水確保により植栽の維持管理を行うことによる温熱環境悪化への配慮をした。</p>	Q-3 1 2 ② 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 敷地内温熱環境の向上 持続可能な森林から産出された木材 温熱環境悪化の改善		

CASBEE静岡 評価結果
日本通運㈱大井川物流センター

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		重点項目					環境配慮設計の概要記入欄					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目		G	D	U	N											
Q 建築物の環境品質																
Q1 室内環境																
1 音環境																
1.1 騒音																
1.2 遮音																
1 開口部遮音性能																
2 界壁遮音性能																
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																
1.3 吸音																
2 温熱環境																
2.1 室温制御																
1 室温																
2 外皮性能		G														
3 ゾーン別制御性																
2.2 湿度制御																
2.3 空調方式																
3 光・視環境																
3.1 昼光利用																
1 昼光率																
2 方位別開口																
3 昼光利用設備		G														
3.2 グレア対策																
1 昼光制御		G														
3.3 照度																
3.4 照明制御																
4 空気質環境																
4.1 発生源対策																
1 化学汚染物質																
4.2 換気																
1 換気量																
2 自然換気性能																
3 取り入れ外気への配慮																
4.3 運用管理																
1 CO ₂ の監視																
2 喫煙の制御																
Q2 サービス性能																
1 機能性																
1.1 機能性・使いやすさ																
1 広さ・収納性																
2 高度情報通信設備対応																
3 バリアフリー計画					U											
1.2 心理性・快適性																
1 広さ感・景観																
2 リフレッシュスペース																
3 内装計画																
1.3 維持管理																
1 維持管理に配慮した設計																
2 維持管理用機能の確保																
2 耐用性・信頼性																
2.1 耐震・免震																
1 耐震性					D											
2 免震・制振性能					D											
2.2 部品・部材の耐用年数																
1 躯体材料の耐用年数																
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																
6 主要設備機器の更新必要間隔																
2.4 信頼性																
1 空調・換気設備																
2 給排水・衛生設備																
3 電気設備																
4 機械・配管支持方法																
5 通信・情報設備																
節水器具を採用。受水槽の二層化及び水栓設置による災害時使用の備えを行っている。																

CASBEE-建築(新築)2021年版 ver1.0の該当箇所をコピーし、赤枠内にリンク貼り付けしてください。

項目	評価	備考	スコア	基準	達成率	備考	スコア	基準	達成率
3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	-	-	
1 階高のゆとり			5.0	0.60	3.0	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ	U	必要階高を確保している。 用途上必要な壁長さを確保している。	5.0	0.40	3.0	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	-	-	
3.2 必要な積載荷重を確保している。									
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-	-	
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出	G		2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		N	3.0	0.40	-	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		U	1.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	G	N	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	G		-	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用	G		3.0	0.13	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの効率化	G		4.2	0.63	-	-	-	-	4.2
モデル建物法BEI0.44により適合									
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	G		3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	G		3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	G		3.0	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	G		3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水	G		4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	G		3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	G		3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減	G		3.0	0.11	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	G		3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	G		3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	G		3.0	0.22	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	G	N	-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	G		5.0	0.22	-	-	-	-	
工場に付内装が無く外造は容易に解体できる仕上げを採用。OAフロアの採用。									
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	G		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤	G		-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	G		1.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒	G		3.0	0.50	-	-	-	-	
発泡剤不使用 CO2冷媒冷凍機									
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	G		3.9	0.33	-	-	-	-	3.9
一般的な建物									
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	N	2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-	-	
敷地内に駐車スペースを確保し周辺道路へ影響無いよう計画している									
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	

CASBEE静岡の重点項目の得点計算表

“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)				
	得点		スコア	重み
[1] エネルギー対策				
LR1 エネルギー	1.2	=	3.7	× 0.33
[2] 資源・マテリアル対策	1.3	=	4.0	× 0.33
[3] 敷地外環境対策	1.0	=	3.0	× 0.34
[2] 資源・マテリアル対策	合計 =	4.0		
LR2/1.1.1 節水	4.0	=	4.0	× 1.00
LR2/2.5 持続可能な森林から産出された木材	0.0	=	0.0	× 0.00
[3] 敷地外環境対策	合計 =	3.0		
LR3/1. 地球温暖化への配慮	2.0	=	3.9	× 0.50
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.0	=	2.0	× 0.50
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)				
	得点		スコア	重み
[1] サービス性能対策				
Q2/2.1 耐震・免震	1.5	=	3.0	× 0.50
Q2/2.4 信頼性	1.3	=	2.6	× 0.50
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)				
	得点		スコア	重み
[1] サービス性能対策	2.5	=	5.0	× 0.50
[2] 室外環境(敷地内)対策				
Q3/3.1 地域性への配慮、快適性の向上	0.5	=	1.0	× 0.50
[1] サービス性能対策	合計 =	5.0		
Q2/1.1.3 バリアフリー計画	0.0	=	0.0	× 0.00
Q2/3.1 空間のゆとり	5.0	=	5.0	× 1.00
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)				
	得点		スコア	重み
[1] 室外環境(敷地内)対策	1.2	=	2.4	× 0.49
[2] 資源・マテリアル対策				
LR2/2.5 持続可能な森林から産出された木材	0.0	=	0.0	× 0.00
[3] 敷地外環境対策				
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.0	=	2.0	× 0.51
[1] 室外環境(敷地内)対策	合計 =	2.4		
Q3/1. 生物環境の保全と創出	0.7	=	2.0	× 0.33
Q3/2. まちなみ景観への配慮	1.0	=	3.0	× 0.33
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	0.7	=	2.0	× 0.34

注意事項

- 1) Microsoft Excel 2003 は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 2) その他、記載されている会社名、製品名はすべて各社の登録商標または商標です。
- 3) 「CASBEE静岡 重点項目公表用ソフト」は、Microsoft Excel 2003 上で開発されたデータファイルです。これらのデータファイルは、著作権法上の保護を受けています。開発・著者、企画・発行者の許諾を得ず、無断で複製、転載(改造した場合も含む)することは禁止されています。
- 4) ただし、この評価ソフトを用いて、利用者の皆様が作成した入力および出力結果を使用する場合はこの限りではありません。その場合、この評価ソフトを利用した旨を明記してください。なお、パソコンの画面画像を使用する場合には、別途、Microsoft Corporationの許諾が必要になる場合がありますのでご注意ください。
- 5) この評価ソフトおよび操作マニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 6) この評価ソフトの仕様および操作マニュアルの記載事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- 7) この評価ソフトは Microsoft Excel 2003 で作成されたものであり、全てのコンピューター上での動作を保障するものではありません。

建築環境総合性能評価システム CASBEE静岡 重点項目公表用ソフト 2021年版 ver1.0.0

Microsoft Excel 2003版

CASBEE静岡 企画・発行 静岡県 ぐらし・環境部建築住宅局建築安全推進課 建築確認検査室

ソフトの内容等に関する問い合わせ

本ソフトの内容に関するご質問は、下記連絡先までE-mailにてお送りください。
なお、回答までに日数を要する場合がありますので、予めご了承ください。
また、Microsoft Windows、Microsoft Excel 2003 等の操作に関しては、それぞれの操作マニュアルをご覧ください。

静岡県 ぐらし・環境部建築住宅局建築安全推進課 建築確認検査室
〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-3075

Copyright ©2017 静岡県